



テーマ名	絵本のバリアフリーについて考えよう
担当教員	中野 真樹 准教授
学 科 名	足利短期大学：こども学科
内 容	<p>絵本は、こどもの想像力をはぐくみ、さまざまな表現や言葉を身につける助けとなります。またたくさんの絵本に出会う中で、じぶんの思いや考えたことを言葉で表現したいという気持ちが育っていきます。</p> <p>この授業では、子どもの成長のなかで大きな役割を持つ児童文化財、絵本のバリアフリーについて考えていきます。</p> <p>絵本は、絵と文字を目で見て、声に出して読んだ文章を耳で聞いて読むものだと思われがちですが、指で読む絵本・手話で読む絵本・マルチメディアデジタル絵本などのさまざまな絵本があり、さまざまな読み方があります。また、日本語で書かれた絵本を日本以外にルーツをもつこどもに読んでもらうための多言語対応絵本もあります。</p> <p>それらの絵本を紹介し、実際に手に取ってみつつ、多様なこどもたちが多様なありかたで絵本を楽しむことができる絵本のバリアフリーについてその基本的な理念を学びます。また、さわって読む絵本の製作体験を行います。</p>
写真・画像	<p>学生作品「点字つきさわる迷路」    学生作品「点字・多言語つきさわる絵」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
対象生徒	高校生